

南っ子の「国語」・「算数」の力と学習の様子

～『令和5年度 全国学力・学習状況調査(2023.4.18 実施) 6年生対象』の結果から～

今年度は、「国語」と「算数」の学力調査が行われました。学習状況調査の結果についても紹介します。

◎は良いところ ▲は伸ばしたいところ

★国語について

＜学習指導要領の内容 「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力」の結果から＞

◎「知識及び技能」の内容が特に良好な結果でした。特に「言葉の特徴や使い方に関する事項」（漢字の書き取り、敬語の使い方）が良かったです。論点や重要な内容について質問することなど、「話すこと・聞くこと」の内容にも良い傾向が見られました。

▲「思考力・判断力・表現力」の内容において、文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめることや、読んだ内容から目的に応じて必要な情報を見分けるなど、「読むこと・書くこと」にやや課題が見られました。

文章を読んで理解したことに自分の考えを関連づけてまとめる活動に力を入れていきます。また複数の本や資料に書かれていることを比較したり、関連づけることは読解力を向上させることにもつながります。「～だから」、「～ので」など情報をつなぐ言葉を使って書く活動を繰り返すことも力を伸ばすことができます。

文章の内容のなかで条件にあった部分や重要な部分に印をつけたり、書いた内容を友達で話し合ったりする活動ではICTを効果的に使うことで理解を深めることができます。

★算数について

＜学習指導要領の5領域（「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」）の結果から＞

◎知りたい数量の大きさを比例の関係を使って求めることや、表から2つの数量の変化の特徴を読み取ることなど「変化と関係」に関する問題に対して良い傾向が見られました。

▲割り算の筆算について各段階の商の意味を正しく理解していなかったり、一の位が0の二つの2位数のかけ算を正しく計算できなかったりなど、「数と計算」領域にやや課題が見られました。

▲表から条件に合う数を読み取ることができないなど、「データの活用」領域にもやや課題が見られました。

筆算の意味を正しく理解するために、お金などの具体物や図と関連づけて考えていくことが重要です。かけ算や割り算など、ただ計算のやり方だけを理解するのではなく、それぞれの意味を考える活動を多く取り入れていくことで数学的な見方、考え方を身につけていきます。

「データの活用」では、データから情報を読み取った理由や根拠を考えたり説明したりする活動を行っています。友達と対話することで、新たな考えに気付いたり自分の考えを深めたりすることができます。

★学習や生活について

質問に肯定的に答えている児童ほど学力調査の正答率が高くなる傾向が見られます。

＜自分自身に関すること＞

◎「自分には、よいところがある」や「先生は、あなたのよいところを認めてくれる」の質問に肯定的に答えているなど自己有用感が高い児童が多いです。

▲毎日、朝食を食べる児童がやや少ない傾向にあります。

＜家庭生活に関すること＞

◎普段の生活の中で幸せな気持ちになることが多いと幸福感を感じている児童が多いです。

▲宿題以外で、自分で計画を立てて勉強をしていないと答えている児童が、県・国平均よりやや多い傾向にあります。

＜学校に関すること＞

◎「学校に行くのが楽しい」と答えている児童が多いです。

◎授業の中でPC・タブレットなどのICT機器を多く使用しており、それらICT機器を使うことが勉強の役に立つと考えている児童が非常に多いです。

◎国語の勉強が好きで授業の内容もよく理解でき、国語の学習が将来、社会に出た時に役に立つと考えている児童が非常に多いです。

◎英語の勉強が好きで、将来、積極的に英語を使うような生活をしたり、職業に就いたりしたいと考えている児童が、県・国平均よりやや多い傾向にあります。

◎道徳の授業で自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると答えた児童が、県・国平均と比べて多くいます。

▲学級活動において、学級生活をよりよくするために互いの意見の良さを生かして解決方法を決めていると答えている児童は県・国平均より低い傾向にあります。

子どもたちの個性や良さを伸ばしながら、学校生活や日常生活を楽しく前向きに送ることができるよう、学校全体で取り組んでいきます。